

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
36	ヤマザキ動物看護大学	野生動物学	天野 卓 動物看護学部 教授	2	後期	金	15	13:10～14:40	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

野生動物学を学ぶためには、野生動物が現在に至る過程、そしてそれらが現在日本や世界にどのように生息し、どのような環境でどのような生活様式を持ち、どのように人と関わっているのかを知っておかなければならない。講義前半では動物の系統進化と分類、野生動物の形態、行動、社会的構造を、後半では人間の社会経済活動と野生動物との関連を学び、野生動物に対する豊富な知識の修得と、社会が求める野生動物の保全や行動管理技術に必要な知識の修得を目標とする。

【授業の概要】

動物の系統進化から始まり、現世哺乳類の分類、動物地理、野生動物の形態、生態、行動、社会構造等についての基本並びに生息地との関わりについて講義する。全ての伴侶動物や産業動物が野生動物から生じた事実も教示する。また、野生動物の調査法についても具体的に教授する。対象動物は哺乳類を中心とし、人との関連性が深い動物、保全上の問題を抱える動物、外来動物等を取り上げる。さらに日本と世界における野生動物教育・研究の取組みについても講義する。

【授業内容】

1. 野生動物学で学ぶべきこと: 講義の目的と特色、講義の進め方等のガイダンス
2. 動物の系統進化と分類: 分類区分、種の定義、機能形態進化
3. 世界の動物地理、日本の動物地理、現世哺乳類の分類体系
4. 日本の野生動物(1) 霊長目、ゲッ歯目、
5. 日本の野生動物(2) ウサギ目、食肉目
6. 日本の野生動物(3) 奇蹄目、鯨偶蹄目等
7. 野生動物調査法: 調査設計、生息域、生息密度
8. 野生動物調査法: 捕獲と不動化
9. 野生動物の保護・管理: 個体数管理・生息環境管理・被害管理
10. 野生動物の救護と看護、野生復帰
11. ヒトと関係の深い動物(1) イヌ、ネコの原種と近縁野生種
12. ヒトと関係の深い動物(2) ウシ、ウマ、ロバの原種と近縁野生種
13. ヒトと関係の深い動物(3) ゾウ、キリンの原種と近縁野生種
14. ヒトと関係の深い動物(4) その他の原種と近縁野生種
15. 野生動物学総括

【成績評価方法】

授業への参加度(40%)と授業の節目ごとに実施するミニテストやレポート(60%)により総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書、教材等】

川道武男(編) 日本動物大百科 1 哺乳類 I 平凡社
伊沢斯紘生・粕谷俊雄・川道武男(編) 日本動物大百科 2 哺乳類 II 平凡社
村田浩一・坪田敏男(編) 獣医学・応用動物科学系学生のための野生動物学 文永堂出版
教材としてプリント、スライド等を随時使用する。

※ この授業は、9/25(金)が初回です。